

静岡大学大学院総合科学技術研究科工学専攻
修士論文および特定の課題についての研究成果審査基準

令和2年9月24日 工学専攻会議

(修士論文)

以下に掲げる5つの基準により、修士論文として適格であるかどうか、主査1人、副査2人以上、計3人以上の審査委員により審査を行う。

審査委員として、論文提出者の研究分野を専門とするものに加え、論文提出者の研究分野と隣接あるいは異なる分野を専門とするものを含めるよう配慮し、多様な立場から審査を行う。

論文提出の際に口頭発表を実施することとし、発表内容と質疑応答の内容を合否判断の参考とする。

- ① 研究課題に対して、先行研究や関連研究に対する調査が行われているか
- ② 設定したテーマの研究に相応しい研究方法がとられており、調査・実験などの進め方が適切であるか
- ③ 論理的な検証から展開された考察・結論が含まれているか
- ④ テーマ、問題設定、研究方法ないし結論等において、何らかの新規性、独創性もしくは有用性が含まれているか
- ⑤ 論文の構成と表現方法が適正かつ十分におこなわれているか

(特定の課題についての研究成果)

次の5つの基準により、研究成果として適格であるかどうか、主査1人、副査2人以上、計3人以上の審査委員により審査を行う。

審査委員には、課題研究提出者の研究分野を専門とするものに加え、課題研究提出者の研究分野と隣接あるいは異なる分野を専門とするものを含めるよう配慮し、多様な立場から審査を行う。

課題研究提出の際に口頭発表を実施することとし、発表内容と質疑応答の内容を合否判断の参考とする。

- ① 事例・先行研究の調査のうえで、実務や社会に根差した、あるいは、現実に展開できる研究課題が設定されているか
- ② 設定したテーマの研究に相応しい研究方法がとられており、調査・実験などの進め方が適切であるか
- ③ 論理的な検証から展開された考察・結論が含まれているか
- ④ テーマ、問題設定、研究方法ないし結論等において、何らかの新規性、独創性もしくは有用性が含まれているか
- ⑤ 論文の構成と表現方法が適正かつ十分におこなわれているか